

## 保健学科棟に献血車がやってきました！！

本年度も、12月8日（金）午後から保健学科棟前で献血が行われました。

今年9月頃から、保健学科看護学専攻2年生の森本翔大さんを中心に、保健学科SDGsアンバサダー“Copain”のメンバーが中心となって、岡山県赤十字センターの方と打ち合わせを重ね、保健学科・保健学研究科、医学科の学生に献血への参加依頼のメールを送信したり、献血推進に向けたポスター作成を行いながら、この企画の準備を進めてきました。

津島キャンパスでも同様に献血が行われ、毎回多くの学生が献血に協力してくれているということでした。鹿田キャンパスには岡山大学病院があり、血液を必要としている患者の皆さんが多く療養されていることから、医療職を目指す学生が多い鹿田キャンパスでも、献血を推進していきたいという思いからこの企画を立ち上げました。今回の献血は、クリスマスキャンペーンということで、血液センターの方には、ハーゲンダッツのアイスクリーム、カップ麺、USB、ブランケットなどを準備していただきました。

献血当日は快晴で、気温も暖かく、絶好の献血日和でした。県学生献血推進連盟の学生のボランティアの方も手伝いに来てくださいました。本年度は66名の献血の申し込みをしてくださった中で、12名の方は何らかの事情で採血までには至りませんでしたがお気持ちだけはしっかりといただきました！！。今回は400ml採血で、体重が50kg以上という条件が付いている関係で、女子学生の中に献血ができない方がおられました。このことについて血液センターの方に伺ってみたところ、400mlの輸血が必要な場合、200mlの輸血を2単位行くと、2人分の血液が輸血されることになり、輸血に伴う副作用の発現のリスクが高くなるからということでした。最終的に今回の献血で、44名の方に献血をしていただきました。ご協力いただいた学生、教員の皆さま方、本当にありがとうございました。

今回の献血では、山陽新聞でCopainの活動について取材していただき、12月9日（土）の朝刊に掲載していただきました。

次年度も引き続き献血を行っていく予定です。今年よりもさらに多くの方に献血にご協力いただけるよう、準備を進めて行きたいと思っています。



文責：看護学分野 森恵子